

すこやかちゃん



ゆりあ
友里愛ちゃん(平成19年6月19日生)
両親＝鈴木陽雄・孝枝さん〔井戸野〕
「お風呂がとても大好きです。
ミルクもたくさんよく飲みます。」



ひろと
大翔ちゃん(平成17年12月24日生)
両親＝小川廣樹・昌代さん〔野中〕
「パパ・ママ ひろちゃんスマイル
かわいいでしょ！ ニッコリ」



やまと もえな
大和ちゃん・萌奈ちゃん
(平成19年1月20日生・平成17年3月15日生)
両親＝武内政広・千恵子さん〔新町〕
「いつも2人で
仲良く遊んでいるよ！」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



紙上展示室 ―旭モノ語り― 第三十回

とがらしごぼう

毎年一月十八日は西宮神社の祭礼(セイレン)の日。ここでふるまわれるのが、名物のとがらしごぼうです。例年、早朝にもかかわらず多くの人で賑わいをみせます。

西宮神社のご祭神は事代主命。神託の神様で、七福神の中のえびす様ともいわれる神様です。えびす様はいつもにこにこ顔。そこで、商売は腹を立てず、とんがらず(とがらず)に、いつもにこやかに人に接すれば必ず成功する、といわれました。

このことから、冬の寒い時期に栄養価の高い食べ物をつくり、怒って(とがって)はならない、という教えから「とがらしごぼう」と名付け、これを神前に供え、氏子に配るようになったのが始まりだといえます。

西宮神社のある旧成田村は、江戸時代から物流の拠点として栄えてきました。九十九里浜から上がる水産物を始め、しょうゆ、年貢など多くの人や物の流れが、商業地としての成田村をつくってきた歴史があります。商いに携わる人々に昔から愛されてきた、素朴で洒落のきいた、ちよつと小粋な食べ物なのです。

「旭市史」に書かれた製法をみて



みましょう。ゆでたゴボウを臼でつき、そこに味噌、しょうゆ、いり大豆とトウガラシを入れて、こねあげて作るもの、とあります。もう、これを読んだだけで身体が温まりそうですね、おいしそうな気配がします。現在、各地区が持ち回りで調理を担当、それぞれの地区で独自の工夫をこらしたものができあがるそうです。とんがらず、明るく笑って過ごせる一年を願い、ごちそうになりましょう。

〔大原幽学記念館 猪野映里子〕

暮らしのカレンダー

- 1日(火) 元日
- 4日(金) 市役所仕事始め
- 12日(土) 消防出初式(9:30～ スポーツの森公園)
- 13日(日) 成人式(10:00～ 東総文化会館)
- 14日(月) 成人の日
- 18日(金) とがらしごぼう(5:00～ 西宮神社)
- 27日(日) 第3回グリーンコンサート(13:30～ 東総文化会館)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。少し前のことになりましたが、昨年十月に三回目の市民ミュージカルが東総文化会館で上演されました。結団式から約半年に及ぶ練習を経て、四十七人の参加者が演じたミュージカル。毎年、終演後すぐに舞台上で全員の写真撮影を行っています。一人ひとりの努力とみんなのチームワークが実り、上演を成功させた喜びで、みんな最高の笑顔です。取材で数多くの写真を撮る私も、とても楽しい撮影の一つです。(一)